

本件連絡先

泉南市都市整備部都市計画課

担当:石橋 広和

TEL:072-483-9973

Mail: tokei@city.sennan.lg.jp

平成29年1月18日

泉南市報道提供資料

報道機関 各位

泉南市秘書広報課長 古木 孝彦
(広報担当:明石)

第5回泉南市民フォーラム

地震の活動期を見据えて 「安全・安心 住宅リフォームの講演会と相談会」

～耐震・省エネ・バリアフリー等の補助制度の上手な活用法～

の開催について

このたび泉南市において住宅耐震化促進の普及啓発の一環として、上記のフォーラムが昨年度に引き続き、NPO法人『人・家・街 安全支援機構』＜略称LSO＞の主催により開催されることになりましたので、広く周知していただくため報道提供をさせていただきます。

記

近年東日本大震災をはじめとして、昨年は熊本地震、鳥取県中部地震など各地で大規模な地震が発生しています。泉南市におきましても近いうちに必ず起こるとされています南海トラフ大地震などへの備えとして住宅の耐震化は喫緊の課題となっています。

今年で5回目となる泉南市民フォーラムでは、予想される巨大地震と木造住宅の耐震診断や補強方法のほか、補強工事にあわせたバリアフリー化や省エネ化の方法をわかりやすく解説し、地震への備えだけでなく住宅のリフォームも考えていただける内容となっています。

泉南市では「安全・安心住まいづくりの支援事業」として住宅の耐震化を促進するため、所有者が行う耐震診断や設計、改修費用等の一部を補助しており、講演の合間に、本制度の説明も行い利用を呼びかけます。

同時に講演会の前後にはLSOに所属する建築士による個別相談会を開催し、より具体的な耐震方法のアドバイスも行います。

このフォーラムにより市民の皆様の住宅耐震化の意識がより高まり、補助制度をより多くの方が利用され、耐震化が進むことを目指します。

＜開催日時＞

平成29年3月4日（土）

講演会：午後1時～午後3時35分

個別耐震相談会

①午前11：00～午後0：30 ②午後3：40～午後4：40

＜講演内容＞

「泉南市で予想される大地震と木造住宅の具体的な耐震診断と補強方法について」

仲田 勝洋（LSO会員・建築士）

「得するリフォームの補助金・減税・優遇制度の上手な活用法」（木造住宅編）

大石 正美（LSO専務理事・（株）シーエムシー級建築士事務所 代表取締役）

「木造住宅倒壊模型を使った実演」

井阪 環（大阪府岸和田土木事務所 地域支援・企画課 地域支援・防災グループ主査）

「泉南市の耐震化に対する補助制度」（泉南市都市整備部 都市計画課 担当職員）

司会：松元 正博（LSO理事・防災士）

（敬称略）

＜開催場所＞

泉南市立文化ホール 展示室（泉南市馬場一丁目2番1号）

JR阪和線「和泉砂川駅」下車北へ徒歩15分

コミュニティバス「図書館・文化ホール前」下車徒歩2分

＜参加方法＞

電話・ファックスにて、NPO法人 LSO（特定非営利法人『人・家・街 安全支援機構』）まで申し込み。（定員100名・先着順）

電話：0120-263-150 FAX：06-6456-1073

（申込者が定員に達しない場合は当日参加も可能ですが、個別耐震相談会は申込者の方を優先させていただきます。また、泉南市外の方でも参加可能ですが、補助制度の説明は泉南市のものだけになります。）

＜参加費用＞

無料

＜問い合わせ先＞

NPO法人 LSO（特定非営利法人『人・家・街 安全支援機構』）

電話：0120-263-150

＜NPO法人 LSO（特定非営利活動法人『人・家・街 安全支援機構』）について＞

阪神淡路大震災を教訓に、人々の生命と財産を災害から守り、「安心」で「安全」な生活環境造りを支援推進すること、及び防災に対する意識向上をはかり、適正な知識（能力）・情報の提供を目的とする。適正な知識（能力）・情報の提供を目的とし、全国各地の自治体で同様のフォーラムを開催している。

昨年のフォーラム風景



個別相談会風景



第5回泉南市民フォーラム

地震の活動期を見据えて

安全・安心 住宅リフォームの 講演会と相談会

～耐震・省エネ・バリアフリー等の補助制度の上手な活用法～

日時

平成29年 **3月4日(土)** **参加無料** **定員** 100名／先着順
〔講演会〕13:00～15:35 〔個別相談会〕11:00～12:30／15:40～16:40
(事前予約者優先・希望者のみ)

会場

泉南市立文化ホール 展示室

申込方法

お電話またはFAXにてお申込み下さい。

講演会

13:00～15:35

〔開会挨拶〕

竹中 勇人 泉南市長

〔講演Ⅰ〕

仲田 勝洋 LSO会員・建築士

「泉南市で予想される大地震と木造住宅の具体的な耐震診断と補強方法について」

〔制度説明〕

泉南市 都市整備部 都市計画課 担当職員

「泉南市の耐震化に対する補助制度」

〔実 演〕

井阪 環 大阪府 岸和田土木事務所 地域支援・企画課 地域支援・防災グループ 主査

「木造住宅倒壊模型を使った実演」

〔講演Ⅱ〕

大石 正美 LSO専務理事・(株)シーエムシー 一級建築士事務所 代表取締役

「得するリフォームの補助金・減税・優遇制度の
上手な活用法」(木造住宅編)

〔司会者〕

松元 正博 LSO理事・防災士

主 催



特定非営利活動法人

『人・家・街 安全支援機構』

Life Safety Support Organization(略称LSO)内閣府認証(府国生第1747号)

フリーダイヤル 0120-263-150

TEL 06-6456-1010 FAX 06-6456-1073

受付時間 9:00～18:00(日・祝休)

後 援



泉南市

協 力

大阪建築物震災対策推進協議会



泉南市立文化ホール

泉南市馬場1丁目2番1号

電車 JR阪和線「和泉砂川駅」下車 北へ徒歩15分
南海本線「樽井駅」下車 南へ徒歩15分
バス コミュニティバス「図書館・文化ホール前」下車 徒歩2分

フォーラムに参加された方の声

- リフォームの時期なので、耐震とバリアフリー両方を兼ねて実施したいと思った。
- 今まで知らなかった知識を得ることができました。とても役に立つ内容でした。
- 皆さん親切・丁寧で分かり易かった。詳しい話で為になった。
- リフォームの時期など知らないことを教えて頂いてとても勉強になりました。
- 色々役立つ話(情報)が多く、大変満足のいくフォーラムでした。
- 個別相談で建築士の先生とお話できたので安心しました。



講演会の様子

泉南市の耐震補助制度

昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅が補助対象です。

TOPICS

1

泉南市の補助制度を利用すると**耐震診断**が自己負担**5,000円**程度で受けられます。

一般的な木造住宅の場合、診断費用は1戸あたり50,000円程度ですが、

泉南市から上限45,000円が補助されます!!

TOPICS

2

耐震設計に要する費用の一部が最大10万円補助されます!!

(設計費の70%かつ上限10万円)

TOPICS

3

耐震改修工事の補助も行っており、**最大40万円の補助金**が受けられます。

定額制、所得に応じて60万円まで

個人の木造住宅所有者で収入目安が910万円以下の方が対象です。改修工事をする、
上記補助金のほかに、所得税の還付、固定資産税(家屋のみ)の減額が受けられる場合もあります。

昭和56年6月以降に建てられた木造住宅について

阪神淡路大震災では、昭和56年以降の比較的新しい木造住宅の一部においても倒壊等が発生しています。そのため、特に建築基準法の構造規定が改正された平成12年6月以前の木造住宅についても、しっかりとメンテナンスを実施し、性能を維持していくことが大切です。

昭和56年6月～平成12年6月に建てられた木造住宅は耐震診断の補助対象外ですが、LSOでは耐震診断を**1万円**で行っています。

【申込方法】 ◎お電話またはFAXでお申し込み下さい。

No.

泉南市民フォーラム参加申込書(FAX用)

フリガナ					
お名前				お電話番号	
ご住所	〒 ー				
ご参加人数	人	個別相談	どちらかに✓をつけてください	☐ 希望する	☐ 希望しない

【お申込先】 特定非営利活動法人『**人・家・街 安全支援機構**』〈略称 LSO〉

☎ 0120-263-150
FAX 06-6456-1073

※この個人情報は LSO から、市民フォーラムおよび地震対策情報をご連絡する場合のみに使用致します。